

「支える側が支えられるとき」

～認知症の母が教えてくれたこと～

日時 2023年9月16日（土）13：00～15：00（受付12：30～）

場所 福井商工会議所 地下1階コンベンションホール
（福井市西木田2丁目8-1）

定員 会場100名 ZOOM 80名 参加費 無料

どなたでも参加できます！申し込みが必要ですので裏面の申込書でお申込みください。

講師 藤川 幸之助 さん（詩人）



■詩人・児童文学作家 日本児童文学者協会会員

■1962年生。長崎大学大学院教育学研究科修了

小学校の教師を経て、現在は認知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続けている。また、認知症への理解を深めるため全国各地で講演活動を行っている。（講演回数489回<2023年7月現在>）作品や活動は、「天声人語」などの多くの新聞やNHKハートネットTVなど多くのメディアで取り上げられている。

■著作

●最新刊・エッセイ集『母はもう春を理解できない』（harunosora）

●自選詩集『支える側が支えられ 生かされていく』（致知出版）

●絵本『大好きだよキヨちゃん。』（クリエイツかもがわ）

『ライスカレーと母と海』（ポプラ社）『マザー』（ポプラ社）等、多数

「扉」

藤川 幸之助

認知症の母を
老人ホームに入れた。

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅっとつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまおうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびったりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと
聞いた。
それでも
母を老人ホームに入れたまま
私は帰る。
母にとっては重い重い扉を
私はひょいと開けて
また今日も帰る。

「満月の夜、母を施設に置いて」 中央法規

主催：福井県・認知症の人と家族の会福井県支部

事務局 〒910-0017福井市文京2丁目9-1

嶺北認知症疾患医療センター（公財松原病院）

TEL 0776-28-2929 FAX 0776-63-6756